

スマートライドダッシュボード SRD5 Basic (5inch)



取扱説明書

もくじ

■安全にお使いいただくために.....	1
メモリーカードについて.....	1
動作の確認.....	1
■準備.....	2
接続のしかた.....	2
■各部の名称.....	2
■表示について.....	3
ホーム画面.....	3
システム設定画面.....	3
■CarPlay / Android Auto の使用について..	4
CarPlay / Android Auto を使用する.....	4
■主な仕様.....	5
■保証規定.....	5
■故障かな？と思ったら.....	6

安全にお使いいただくために

本機を安全に使用していただくために、この取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。読み終わった取扱説明書は必ず保存していただき、必要に応じてご参照ください。

警告

- 本機を車両に取り付ける際は、必ずエンジンを切り、電源が入っていない状態で行ってください。また、不用意にエンジンがかからないように、エンジンキーを抜いておいてください。
- 指定以外の電圧で使用しないでください。液漏れ、発熱、破裂、発火などの原因となります。
- 分解、改造などを行わないでください。火災や、感電、けが、または故障の原因となります。修理をする場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

- 本機を車両に取り付ける前に、必ず状態確認を行ってください。取り付け後は無条件での返品・交換はできません。
- 高圧洗浄機を使用する際は、本機に水などがかからないようにご注意ください。
- アルコール、除去液、クリーニング剤などの腐食性溶剤で本体およびレンズを拭かないでください。本機の外観と防水性が損なわれることがあります。
- 電源ケーブルなどの配線は折り曲げないでください。断線により故障や発火の原因となります。
- 走行中に落下することのないように、確実に取り付けてください。
- **ねじ止めした箇所に振動が作用するとねじは緩んでいきます。特に、ブラケットの可動部分は振動の影響を受け易いので、定期的に点検をし、ゆるみを見つけたら締め直すようにしてください。また、ねじは初期ゆるみが起き、締め付けてしばらくすると程度の差はありますが締め付けている力が低下します。しばらく経ってもう一度最初と同じ締め付けをしておく、と、ねじゆるみを防ぎやすくなります。**
- 本機を長時間使用しない場合は、電源ケーブルを外してください。バッテリーが上がる原因となります。

●メモリーカードについて

- microSD メモリーカードスロットがありますが、本製品ではメモリーカードを使用しません。
- メモリーカードスロットは、ゴムキャップをしっかりと押し付け、メモリーカードカバーを閉めてメモリーカードスロットに水が入らないようにご注意ください。

●動作の確認

取り付け後に動作不良が発見されることを避けるため、開封後はまず付属の USB ケーブルを使って本機をモバイルバッテリーなどに接続し、動作確認を行ってください。

確認項目

- 正常に電源が入り、起動できるか
- Bluetooth が正常に接続できるか
- CarPlay または Android Auto が正常に使用できるか

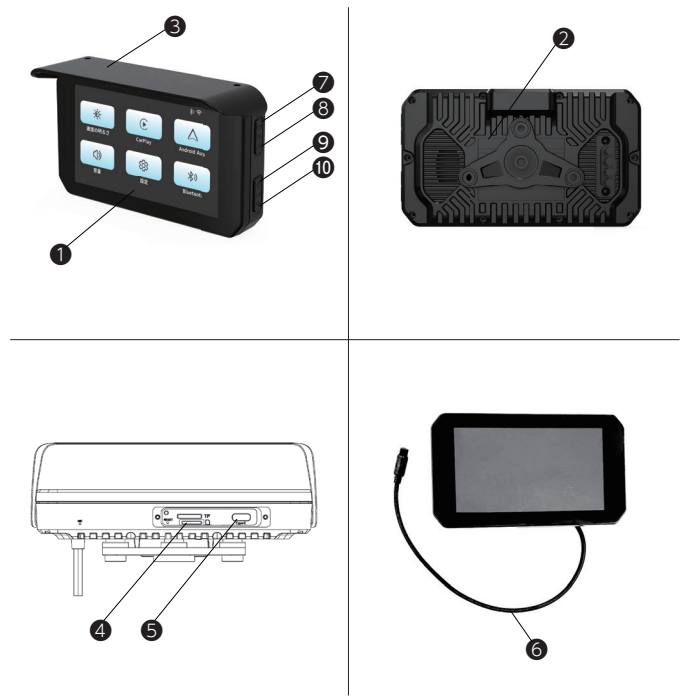
準備

●付属品の確認

開封後、以下の付属品がそろっていることをご確認ください。不足がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	
本体	遮光フード・遮光フード固定ネジ
	
電源ケーブル (USB 用)・電源ケーブル (12V 接続用)	ブラケット B・ブラケット C スペーサーセット
	
ブラケット A・ブラケット A 固定ネジ・ブラケット A 固定プッシュ・ブラケット A センターネジ	ズレ防止テープ
	
六角レンチ・プラスドライバー	

各部の名称



- ①ディスプレイ
各種情報を表示します。
- ②冷却モジュール
本機内部の熱を放出します。放熱ができないと故障の原因となります。冷却モジュールは他の部品などで塞がないようにご注意ください。
- ③遮光フード
日光等を遮り、ディスプレイの視認性を高めます。
- ④メモリーカードスロット
microSD メモリーカードの挿入口です。使用しません。
- ⑤ USB Type-C ポート
USB Type-C ケーブルを接続します。接続する際は、ドライバーで 2 本のねじを緩めてください。
- ⑥電源ケーブル
バッテリーに接続します。
- ⑦物理ボタン①
使用しません。
- ⑧物理ボタン②
使用しません。
- ⑨ホームボタン
ホーム画面に戻ります。
- ⑩電源ボタン
押すと電源が入ります。5 秒以上押すと電源が切れます。

表示について

●ホーム画面



- ① Bluetooth アイコン
Bluetooth 接続時に点灯します。
- ② Wi-Fi アイコン
Wi-Fi 接続時に点灯します。

■ ボタンについて

タップすると、それぞれ以下の画面に切り替わります。

	画面の明るさ	押すと、HOME 画面上部にスライドバーが表示され、画面の明るさの調整が出来ます。
	CarPlay	Apple CarPlay 接続画面を表示します。 ※事前に iPhone / iPad と Bluetooth 接続をするためのペアリングを行ってください。
	Android Auto	Android Auto 接続画面を表示します。 ※事前に Android OS のスマートフォンと Bluetooth 接続をするためのペアリングを行ってください。
	音量	押すと、HOME 画面上部にスライドバーが表示され、音量の調整が出来ます。
	設定	システム設定画面を表示します。
	Bluetooth	Bluetooth 接続画面を表示します。

●システム設定画面

ホーム画面で設定ボタンをタップし、システム設定画面を表示します。



	言語	英語と日本語を切り換えます。
	時間設定	時刻を設定します。(時刻は Wi-Fi / Bluetooth 接続時に自動で調整されます)
	スマホで音声出力	音声をスマートフォンから出力するか、本体から出力するかを設定します。
	タッチ操作音	操作音のオン/オフを設定します。
	Wi-Fi スイッチ	Wi-Fi のオン/オフを設定します。
	出荷時設定へリセット	本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。
	バージョン	ソフトウェアのバージョン情報、Wi-Fi 接続時の表示名とパスワードを表示します。
	Wi-Fi 周波数	Wi-Fi の屋内モードと屋外モードの切替を行います。

CarPlay / Android Auto の使用について

● CarPlay / Android Auto を使用する

■ 準備 (Bluetooth ペアリング)

CarPlay / Android Auto を使用するには、事前に本機とスマートフォンが Bluetooth 接続ができるようにペアリングを行う必要があります。ペアリングは以下の手順で行います。

- ① ホーム画面で Bluetooth ボタンをタップする。
- ② スマートフォンの Bluetooth 接続画面で本機とペアリングを行う。
スマートフォンの説明書等に従ってペアリングを行ってください。
 - ・ ペアリングは一度行くとその情報を維持します。二回目以降の接続時にペアリングを行う必要はありません。

■ CarPlay / Android Auto を使用する

ご使用のスマートフォンの OS が iOS の場合は CarPlay ボタン、Android の場合は Android Auto ボタンをホーム画面でタップします。

- スマートフォンの Bluetooth 接続が ON になっていることをあらかじめご確認ください。

接続に成功すると、本機に CarPlay / Android Auto の画面がご使用の OS に従って表示されます。スマートフォンにインストールされたアプリで使用可能なものが表示されます。

・ 音楽や情報、地図アプリなどは使用できますが、動画再生アプリは使用できません。

【ご注意】

本製品は、スマートフォンとの通信に 5.6GHz を使用します。
モニター起動後から約 1 分間、電波の干渉確認を行います。
※その間は CarPlay / Android Auto は接続されません。
本製品起動から、ペアリング完了後にも、Wi-Fi の電波干渉確認に 1 分 30 秒～2 分ほどかかります。確認が終わると CarPlay / Android Auto に自動で接続します。

対応 OS のバージョン

Android : 11 以上

iOS : 10 以上

Huawei と SHARP の携帯電話には対応していません。

● Bluetooth 機器について

モニター本体⇄スマートフォン⇄Bluetooth 機器に連携しております。

モニターはヘッドセットとは直接接続せずにスマートフォンをハブとして使用するので、音楽再生時の音の劣化や音の遅れの発生を防ぐことができます。

モニター設定の『スマホで音声出力』を『オン』にしてください。

【ご注意】

Bluetooth 機器とモニター本体は直接つなぐ機能はございません。
対応機種につきましては、スマートフォンと Bluetooth 機器が接続可能な機器に限ります。

● 供給電力に関する注意

本製品に必要な電圧は 12V(USB ポートの場合は 5V) です。
複数の機器を同時に使用される場合や、バッテリーの劣化などの原因で電圧が下がると、本体が再起動を繰り返したり、タッチの反応が悪くなるなどする場合があります。

上記の様な症状が見られる場合は、モバイルバッテリーや USB アダプターを用いて家庭用コンセントから給電するなどを試し、本体が安定稼働するかご確認ください。

主な仕様

商品名	スマートライドダッシュボード SRD5 Basic (5inch)	
型式	C5SE	
ディスプレイ	サイズ	5インチ
	液晶仕様	IPSタッチパネル / 輝度600Nit
	解像度	854 × 480P HD
無線接続	CarPlay / Android Auto	
本体ポート	USB TypeC	
防水・防塵規格	IP66	
Wi-Fi規格	IEEE 802.11a/n Wi-Fi compliant 5GHz (DFS機能搭載) ※Apple CarPlay、Android Autoとの通信はW56(DFS機能)を使用	
Bluetooth規格	Bluetooth5.0搭載	
給電方式	電源ケーブル使用 (ACC電源)	12V / 24V対応
	USB使用 (付属ケーブル使用)	5V
動作・保管温度	-10 ～ 60℃	
対応言語	日本語/英語	
マルチメディア	Micro SDカードスロット (最大128G) ※使用しません	

保証規定

1. ＜保証期間＞
本製品の保証期間は新品購入日から 1 年間です。
本書の記載内容にしたがった通常のご使用において自然故障した場合は、本保証規定にのっとり保証修理または交換することを保証いたします。
交換となった場合の保証期間は、故障前の製品保証期間に準じます。
※交換する場合、元の製品／部品は返却いたしません。
2. ＜保証対象＞
保証対象は本製品の主要部分（本体、電源ケーブル）のみとさせていただきます、消耗品（内蔵バッテリー、ヒューズ）やお客様が貼られたステッカーなどの付加品は保証の対象とはなりません。
3. ＜適用の除外＞
次の場合は、保証期間内であっても、保証の対象とはなりません。
(1) 故障した本製品の各部品をご提出いただけない場合。
(2) ●オンラインでのご購入は商品の注文番号や納品書（再販商品は対象外です。）
●店舗でのご購入はレシートや領収書などの明細書。
上記、購入証明となるものを提示いただけない場合。
(3) 道路交通法で定められる走行でのご使用いただいていない場合。
(4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃による故障／損傷。
(5) 取り付けの不備や電源の逆接続、使用上の誤り（本書の記載内容に反する取り扱い、誤操作など）による故障／損傷。
(6) 保管上の不備や手入れの不備による故障／損傷。
(7) 分解、改造、不当な修理、機器に変更を加えたことによる故障／損傷。
(8) 本製品の各部品への内部浸水／結露による故障。
(9) 通常使用の範囲を超える温度、湿度、振動、衝撃、異常電圧による故障／損傷。
(10) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異や公害など外的要因による故障／損傷。
(11) 他の機器に起因する本製品の故障／損傷。
(12) 消耗品（内蔵バッテリー、ヒューズ）やお客様が貼られたステッカーなどの付加品。
(13) 本製品のソフトウェア（アプリや PC ソフト、ファームウェア）のインストール、アップデート作業により発生した故障や障害。
(14) 個人売買や中古譲渡など、保証修理や交換が認められない事由が判明した場合。
(15) 日本国外での使用。
4. ＜免責＞
(1) 本製品の故障による代替機器の貸出しは一切行っておりません。
(2) 本製品の使用／故障によって弊社が負う責任は、いかなる場合でも本製品の購入代金を限度とします。製品の修理／交換にかかる付帯費用（送料、工賃、人件費など）や、使用／故障によって生じた直接的／間接的／精神的な損害、逸失、利益の補償などにつきましては、弊社は一切の費用負担を行いません。
(3) 本製品は SD カードを使用しませんが、万一挿入された場合でも SD カードに記録されているデータについての補償や失われたデータについての補償、データ消失／破損に付随して発生した損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
5. ＜その他＞
(1) 本保証は日本国内においてのみ有効です。
(2) 本保証規定は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
(3) 保証期間を過ぎた場合や本保証規定の＜適用の除外＞に該当する場合の修理または交換は、有償となります。あらかじめご了承ください。
(4) 本製品の各部品は、予告なく外観／仕様を変更する場合があります。修理または交換の際、元の製品／部品と違いが生じる場合がありますが、品質／機能に影響がないものについてはご了承ください。
(5) 本製品は使用電子部品の製造中止などにより、予告なく修理受付終了となる場合があります。あらかじめご了承ください。
(6) 購入証明となるレシート、納品書などを、本体と一緒に保管をお願いします。

故障かな?と思ったら

故障かな、と思った場合は、まず以下の点をご確認ください。

問題	推定原因	対策
電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルの接続をご確認ください。
電源は入るが、再起動を繰り返す。	供給電力が不足している。	5V、2A以上の給電が必要です。電源状況の確認をしてください。他の機器との併用によって不足していたり、バッテリーの劣化などで不足している、または安定しない状況にある可能性があります。(交流の場合は不安定になるので、直流で使用してください。)
走行中に画面がちらつく、暗くなる。	供給電力が不足している。	5V、2A以上の給電が必要です。電源状況の確認をしてください。他の機器との併用によって不足していたり、バッテリーの劣化などで不足している、または安定しない状況にある可能性があります。(交流の場合は不安定になるので、直流で使用してください。)
タッチをしてもディスプレイの反応が悪い。または反応しない。	保護フィルムが貼られたままになっている。	保護フィルムをはがしてください。
	グローブがタッチパネル対応していない。	スマートフォンと同じく、タッチパネル対応したグローブ以外では上手く動作しません。グローブを外して操作を確かめていただくか、タッチパネル対応のグローブかどうかをご確認ください。
	供給電力が不足している。	5V、2A以上の給電が必要です。電源状況の確認をしてください。他の機器との併用によって不足していたり、バッテリーの劣化などで不足している、または安定しない状況にある可能性があります。(交流の場合は不安定になるので、直流で使用してください。)
設定画面でスクロールバーが機能しない。	スクロールバーではなく、項目に続きがあることの表示です。スクロールできない仕様です。	画面を上下方向にスワイプして表示を切り替えてください。
Bluetoothでスマートフォンと本機のペアリングができない。	本体のBluetoothがONになっていない。	本体のBluetoothスイッチがONになっているか確認してください。
	スマートフォンのBluetoothがONになっていない。	お手持ちのスマートフォンの取扱説明書を参照いただき、BluetoothをONにしてください。
Bluetoothのペアリング中にペアリング画面が繰り返し再起動される。	日本の電波法 技適適応対応の為の仕様です。	DFSの接続で、電波の探索中はペアリングがON/OFFを繰り返す為、ペアリング画面が再起動されます。
CarPlay / Android Auto が使用できない。	Bluetooth 接続ができていない。	本体のBluetoothスイッチがONになっているか確認してください。 Bluetoothのペアリングを再度行ってください。
	iOS のバージョンが古い。	iOS はバージョン 10.0 以上に対応しています。
Android Auto が使用できない。	SHARP、HUAWEI 製のスマートフォンを使用している。	SHARP、HUAWEI 製のスマートフォンでは本機をお使いいただけません。
	Android のバージョンが古い。	Android はバージョン 11.0 以上に対応しています。
	Android Auto がインストールされていない。	GooglePlay で検索し、Android Auto をお手持ちのスマートフォンにインストールしてください。

問題	推定原因	対策
CarPlay / Android Auto の起動が遅い。	電波法の技適適応の為、電波干渉確認に 1 分 30 秒～2 分ほどかかります。	お待ちいただいて解決しない場合、再度お手持ちのスマートフォンに対応した CarPlay あるいは Android Auto のボタンを押して開始してください。
CarPlay / Android Auto が起動した後、HOME 画面に遷移してしまう。	電波法の技適適応の為、電波干渉確認に 1 分 30 秒～2 分ほどかかります。	電波干渉確認の為、安定稼働するまでそのままお待ちいただければ自動的に CarPlay / Android Auto に再度つながります。自動でつながらない場合、少しお時間をおいた上で再度お手持ちのスマートフォンに対応した CarPlay あるいは Android Auto のボタンを押して開始してください。
CarPlay / Android Auto が何度も再起動を繰り返す。	供給電力不足している。	5V、2A 以上の給電が必要です。電源状況の確認をしてください。他の機器との併用によって不足していたり、バッテリーの劣化などで不足している、または安定しない状況にある可能性があります。(交流の場合は不安定になるので、直流で使用してください。)